



# 議論はここに

新規

## 一般会計補正予算 2億6,058万9千円を増額

(補正後の予算額 398億9,209万2千円) ◎賛成多数で可決

国県補助金の財源を活用した中で、介護施設開設準備経費補助金、農業振興関係補助金及び通話録音装置無償貸与モニター事業等を計上するものです。さらに、ふるさと納税が大幅に増加したことに伴い、返礼品等の諸経費を増額補正するとともに、職員人件費に係る過不足額の調整のほか、公共施設の修繕など、緊急に対応しなければならない経費が計上されました。なお、県央大橋西詰整備計画関連では今後の実施方針も示されました。

### 県央大橋西詰周辺地域整備事業 (選定委員謝礼金) 6万5千円

#### 主な意見

- 県央大橋西詰整備計画関連については、地域に今ある異なる施設を1つの枠組みで整備することに疑問があることから、必要な部分だけに絞ったほうがいいのか。
- 整備の1期目に13～17億円の予算をかけて思うような効果が出なければどうするのか等、多数の意見が出されました。



産業史料館から見た整備予定地、左側が県央大橋

## 子ども子育て支援

児童クラブは、主に昼間保護者が不在の児童が利用している。保護者へのニーズ調査を受け、対象学年の拡充と利用時間の延長を行う。

**問** 定員の基準からみて、登録児童の多い施設や定員オーバーなどの状況はどうか。

### 通話録音装置 無償貸与モニター事業 49万5千円

振り込め詐欺や悪質商法の被害を防止するため、65歳以上の人を対象に警告メッセージ付き通話録音装置を無償で貸し出す。モニター期間終了後、アンケートに回答してもらい、効果を検証する。

**問** 55台分のモニターを募集するが、応募数を越えた場合はどうするのか。

**答** まずは、ひとり暮らしの高齢者、次に高齢者だけの世帯という形で優先順位をつけて決めていく。

**問** 導入にあたり、市が把握している市民の被害状況はどうか。

**答** 平成27年10月末で特殊詐欺は12件発生している。被害金額は4,200万円である。

**答** 吉田南小学校区の児童クラブは人口の増加に伴い登録が増えている。また、秋葉町児童クラブは常に定員を超えており、十分なスペースを確保するため、燕西幼稚園を改修して移設する計画である。

**問** 対象学年の拡充によって、健常者のみならず障がいのある児童が増えてきたら、施設の見直しも検討しなければならないと思うがどうか。

**答** 障がい者児童の入会も考えられるが、職員の追加配置を行い対応していく。

# 集中!

すべて継続



## 指定管理者の指定

施設の名称・機関 ※5年間(平成28年4月1日～33年3月31日)	指定管理者・提案額
燕市せん定枝リサイクル施設	株式会社 吉田環境衛生公社 1,849万6千円
燕水分水福祉会館	分水小学校区まちづくり協議会 491万9千円
燕市老人集会センター	社会福祉法人 燕市社会福祉協議会 230万円
燕市勤労者総合福祉センター(あおぞら)	公益社団法人 燕市シルバー人材センター 950万円
燕市立図書館・燕市立吉田図書館・燕市立分水図書館	株式会社 図書館流通センター 8,400万円
燕市西燕公民館	燕西地区まちづくり協議会 338万9千円

**問** せん定枝の処理について、リサイクル施設と環境センターの2カ所あるが、その使い分けは。

**答** せん定枝リサイクルセンターは、市民は50kgまで無料だが、環境センターに持ち込む場合は有料である。両施設ともに、時間や搬入できる大きさなどに制限があり、選んでいただいている。ただし、業者は有料で施設により料金も分かれている。

**問** 利用料金は経費に見合っているか。

**答** 平成29年度の消費税改正後に見直しを行い、処理後の肥料「せんてい君」の有料化もあわせて検討する。また、現在も野焼きの通報があり、消防と連携で対応しているが、適切な処理をお願いしていきたい。

### 対象学年の拡充

現行	改正
1年生～4年生	1年生～6年生

### 利用時間の延長

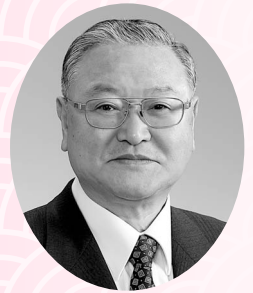
	現行	改正
平常授業時	放課後～18:30	放課後～19:00
土曜及び長期休業時	8:00～18:30	7:30～19:00



タクサン・シツギガ・アリマシタ

議長

中島清一



## 年頭のご挨拶

明けましておめでとございます。市民の皆様には、すがすがしい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中に市議会に対して賜りました、さまざまなご支援や激励の声に対しまして、厚く御礼を申し上げます。さて、燕市は昨年「ふるさと燕応援寄附金」の申し込みが新潟県のトップに大きく躍り出ました。燕市が地場産品といった「モノ」だけでなく、それらを含めた燕ブランドの「イメージ」が飛躍的に高まり始めた年だったと言える

のかもしれない。

そうした市の躍進の中で、私ども燕市議会も「開かれた議会、市民の声を反映する議会」へと不断の改革に努め、3月に合併10周年を迎える燕市のさらなる発展に向け、議員一同全力で責務を果たす所存であります。皆様からのさらなるご支援とご協力をお願いいたしますとともに、皆様にとって幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

